

## 平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	北広島町立壬生小学校		
学校長氏名	松島 尚志	栄養教諭氏名	堂面 敦子
職員数	22名	児童・生徒数	176名

**1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）**

- ・児童は食に対する興味関心はあるが、行動は食の好みに左右されているところがある。
- ・給食では残さず食べる雰囲気はできていて、全体として残菜はないが、配膳量に個人差がある場合がある。
- ・食事のマナーは知っているが、あまり実行できていない。

**2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）**

## ① 赤・黄・緑の食品がそろった朝食を週5日食べてくる

成果指標…平均 40%以上の児童が年間3回の生活習慣チェック週間で、週5日毎日そろえて食べている。

## ② 給食時間に姿勢を整えて食べる

成果指標… 上半期・下半期の姿勢アンケートで各 50%の児童が姿勢を整えて食べている。

**3 食育の目標に対する具体的な取組****【取組1】（テーマ）全体指導（全校朝会・各学級朝会での指導）**

- ・各学級朝会での指導(各 10 分)

1 学期…「早寝早起き朝ごはん」の大切さについて、養護教諭と栄養教諭で分担し、担任と連携のもと数日間に分けて各学級を指導した。（指導資料：レム睡眠・ノンレム睡眠のリズムについての絵・朝食についての絵）

2 学期…1 学期に行った学級指導を、保健指導部の職員で分担して行った。同じ資料を使ったが、1 学期とは違う職員が行って話をした。

- ・全校朝会での指導(15 分)

3 学期に養護教諭と連携して行った。指導資料は同じものを取り入れた。1 学期・2 学期の調査でよくなった項目についてグラフで紹介し、なぜよくなったか分析結果について説明した。

**【取組2】（テーマ）少人数指導（2 学期朝会時）**

対象…1 学期の結果において昨年度より改善されてない児童の中で、自身の努力で改善が可能と思われる児童、改善の必要性について知ってもらいたい児童

方法…2 学期の読書朝会時に 6 人程度ずつ別室で少人数指導を行った。

状況が似ている児童を「起床就寝時刻」「兄弟姉妹」「ゲーム時間」の 3 つにグループ分けした。

「睡眠力チェック表」を用い、生活の様子を振り返り、○×クイズで改善の意欲を高めるようにした。

**【取組3】（テーマ）給食時間における姿勢指導（千代田ブロック健康教育部会）**

「食事時の姿勢」についてのポスターを常時掲示した。

給食時間に栄養教諭が声かけを行うとともに、学級でも実態に応じて取り組んでもらうようにした。

ブロック共通の「姿勢アンケート」を実施し、意識向上につなげた。

#### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・「熱く燃えろ！！Cスープ」については町内共通献立を作成した。

ごはん…千代田産米使用

きたひろバーグリンペソース…昨年度の「北広島町給食メニューコンテスト」で最優秀作品になったハンバーグ。町内特産物使用。

もやしとほうれん草の海苔和え…児童の食べやすい和え物

「熱く燃えろ！！Cスープ」…ひろしま給食

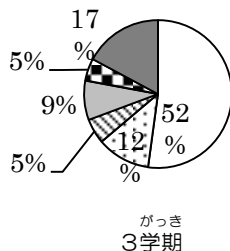
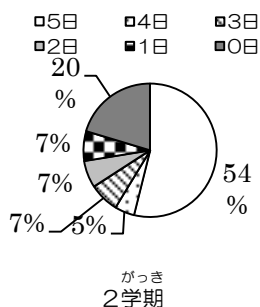
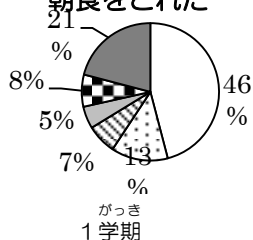


- ・今年度のその他の4品は、10月後半～11月前半に実施した。
- ・昨年度までの「ひろしま給食」は、各年度ごとに1～2品を10月の給食献立に組み入れ、10月は「ひろしま給食月間」とした。各献立実施の日には、各学級への指導資料に献立の説明を掲載した。

#### 5 取組に対する成果と課題

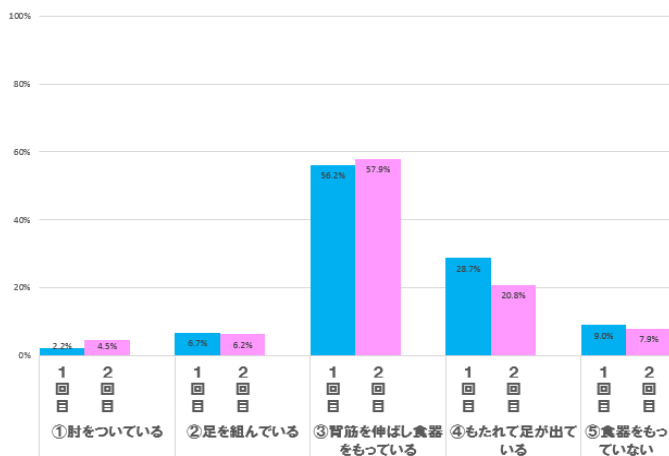
##### 【成果】

バランスのよい朝食をとれた



##### 【課題】

##### 給食中の姿勢【全校】



- ・毎回、5日間「赤黄緑をそろえた」児童が目標値を上回った。
- ・「0日」の児童が減ってきて、3色そろえられる日が多くなった。
- ・(グラフは出していないが)就寝時刻が守れるようになったことと朝食内容の改善にあわせて、排便が毎日あった児童が増えている結果になった。「授業中も『トイレに行きたい』という児童が減った」という声も担任から上がった。

- ・アンケートをとると、「背筋を伸ばし食器を持っている」と答えた児童が上半期・下半期とも50%を越えており、「姿勢よく食べるように意識している」児童が多い。
- ・しかし、食べ始めだけ、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの時だけは姿勢がよいが、その後は姿勢が崩れる児童も多く、持続できていない。
- ・声かけをしたそのときにはきちんとしているが、声かけをしないとできない児童も多い。

#### 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・給食時間に具体的なマナーなどについて指導を行うことは継続していく。「姿勢」は習慣なので、劇的な改善にはつながりにくいですが、粘り強く取り組んでいく。千代田ブロック全体での取組にすることによって、学校間での共通認識もできているので、各学校の取組も参考にしていきたい。
- ・生活習慣チェックは来年度も継続していく。今年度の結果でのよかった点を取り上げ、職員で共有するとともに、児童や保護者啓発にもつなげたい。
- ・「自分の給食を残さず食べる」意識はできているので、「配膳時間の短縮」や「だらだら食べない」ことが食事のマナーや感謝の心につながるということを伝える取組を考えていきたい。